

どうやったら漁師になれる？



能登でサーフィン大会！?



能登半島の
さいはてで
海辺の暮らしを
楽しむ

石川県
珠洲市



2020年 3月 1日(日)
16:30-18:30 入場無料

東京交通会館4階
セミナールームB

海辺暮らしの

リアルと満喫のコツ、教えます。

石川県・能登半島の最先端に位置する、本州で最も人口の少ない市・珠洲（すず）市。豊かな里山里海原風景や文化を色濃く残しながらも、「奥能登国際芸術祭」やSDGsなど、先進的な取り組みに挑戦するなつかしくて新しいまちです。三方を海に囲まれた土地柄、海と人々の暮らしには深いつながりがあります。そんなさいはての地・珠洲で、海辺暮らしを満喫しているおふたりをゲストに迎え、本音を語っていただきます。将来、珠洲や海辺のまちで暮らしてみたい方・珠洲や能登に縁ある方・関わりをもちたい方もお気軽にご参加ください。

移住者でも漁業権とれるの？



プログラム内容

珠洲市の概要紹介
ゲストトーク

海辺暮らしを満喫するゲストのおふたりにリアルな暮らしぶりをお話していただきます！

トークセッション

ゲストのおふたりと移住担当者が登壇し、参加者の質問にも答えながら、珠洲での暮らしについてざっくばらんに語ります！

個別相談

お申込方法

事前申込にご協力ください。
お申込は「ふるさと回帰支援センター セミナーページ」から！



ゲストスピーカー

万行 一也 さん

便利な都会には十分住んだ。次は不便な田舎だと考え、2017年、神奈川県より夫婦で移住。平日は酒蔵でサラリーマン、休日は漁師。2つのキャリアを活かし、現金収入と現物収入の両立をしながら暮らす。最近の悩みは野菜と魚をいただきますすぎて、冷蔵庫容量が足りないこと。

小林 巨英 さん

珠洲で生まれ育ち、珠洲の海をこよなく愛する2児の父。サーフィンが趣味で、2016年から冬の珠洲でサーフィン大会を企画・運営している。ふだんは夜明け前に定置網の船に乗りこみ、仲間と網をたぐり寄せる漁師の日々。料理の腕をふるい、家族のために刺身をつくることもしばしば。



会社員 × 漁師

漁師 × サーファー

